

医学系研究科（保健学専攻）アドミッション・ポリシー

<保健学専攻博士前期課程>

【求める人材像】

大阪大学のアドミッション・ポリシーのもとに、保健学専攻博士前期課程では、これからの日本、そして世界における保健・医療・福祉のさまざまな課題を、リサーチマインドをもって探求、解決に努力する臨床実践者、臨床科学技術者、研究者、教育者を目指す下記の資質を持つ学生を受け入れます。

- (1) 人々の健康の増進に貢献したいという情熱のある人
- (2) 新たな医療技術の開発研究を行う資質を持つ人
- (3) 医学基礎研究の発展に貢献する資質を持つ人
- (4) 語学力を有し、多角的な視野を持つ人
- (5) コミュニケーション力を有し、リーダーシップを発揮する素質を有する人

【入学者選抜の基本方針】

上記の人材を受け入れるため、学力検査、面接および出願書類を総合的に評価して選抜を行います。

【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

- (2)～(4)の資質および能力を学力検査および出願書類を総合的に評価します。
- (1)および(5)については面接と出願書類を総合的に評価します。

<保健学専攻博士後期課程>

【求める人材像】

博士後期課程では、保健医療科学の分野で、グローバルな知識を持ち、国際的なリーダーシップを発揮できる研究者の育成を目的としています。医療界のみならず産業界からも期待され、将来の保健医療福祉分野において国際的な貢献を目指す、多角的な視野を持つ人を求めています。

- (1) 高い倫理観のもと保健医療分野での研究を通して人々の健康と福祉に貢献できる人
- (2) 新たな医療技術の開発や生命現象の解明に情熱をもって取り組む人
- (3) 新たな分野を萌芽的な段階の研究から切り開いていく資質を持つ人
- (4) 自らの専門分野にとどまらず他領域との融合による新たな展開を図る資質を持つ人
- (5) 高い語学力を有し、多角的な視野を持つ人
- (6) 高いコミュニケーション力を有し、リーダーシップを発揮する資質を持つ人

【入学者選抜の基本方針】

上記の人材を受け入れるため、学力検査（医療検査技術科学分野のみ）、口述試験および出願書類を総合的に評価して選抜を行います。

【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

（２）～（５）の資質および能力については学力検査および出願書類を総合的に評価するとともに、口述試験における出願者のこれまでに実施した研究の発表とそれに対する質疑応答を通して評価します。

（１）および（６）については口述試験および出願書類を総合的に評価します。